



さくら草コミスクだより

第1号

さいたま市立さくら草特別支援学校
令和6年7月1日発行



コミュニティ・スクールがスタートしました

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)とは、地域住民や保護者の方々が、学校運営や学校への支援について協議を行う場です。学校運営協議会を通じて、地域住民や保護者等の学校運営への参画や支援及び協力を促進することにより、学校・家庭・地域の連携や信頼関係を深め、学校運営の改善及び子どもたちの健全育成に努めます。



本校では、6月18日(火)に、第1回学校運営協議会を開催しました。はじめに、校長から学校運営に関する基本的な方針等の説明を行い、委員の皆様から承認をいただきました。その後の熟議では、学校・家庭・地域が連携してできる取組について話し合いました。

<令和6年度学校運営協議会委員>

会長 山岡 康幸 様(元本校教頭)

副会長 山本 宏 様(社会福祉法人さくら草理事長)

委員 石関 健 様(学校法人大古里学園理事長) 酒井 浩志 様(さいたま市立大古里公民館館長)

工藤 祐子 様(療育センターさくら草すみれ園長) 鈴木 美幸 様(三室おぶさと住宅自治会会長)

中村 有里 様(さいたま市立病院看護師長) 天野 尚子 様(緑区障害者生活支援センター施設管理者)

三島 公夫 様(さいたま市立三室小学校校長) 廣江 剛 様(さいたま市立三室中学校校長)

大田 明子 様(本校PTA会長)

入澤 真理香 (本校校長) 稲吉 勝 (本校教頭) 遅澤 麻奈美(本校教頭)

山元 誠一郎 (本校学校地域連携コーディネーター)

<委員の方々からいただいたご意見(抜粋)>

- ・お手紙配りの活動を通して地域とのつながりができてきた。
- ・園児にとっても関わりが大切。文化祭等にも参加したい。
- ・自治会インスタグラムで学校のこと発信していきたい。
- ・教員のICT活用がすばらしい。活用方法を教えていただける場を設けたい。
- ・地域と児童生徒で一緒にお散歩やお茶会のイベントを開催するのはどうか。
- ・学校が5区にまたがっているの、相談しやすい仕組みづくりをしていきたい。
- ・教職員同士のつながりも大切なので、ぜひ交流の場をつくってほしい。
- ・地域の皆様がいろいろと考えてくださっていることにお礼を申し上げたい。
- ・先日は吹奏楽部の交流があったが、今後は、演劇やダンスなども活用できそうだ。
- ・これまででは子ども中心に考えがちだったが、地域と協力してできることも考えていきたい。



学校・家庭・地域で連携した取組については、学校ホームページで公開していきますので、ぜひご覧ください。



本校マスコットキャラクター
プリムローズ